

調査資料

コロナでシフト減のパート・アルバイト女性の転職意向に関する調査 － 転職に伴う経済面の不安解消が雇用移動促進の鍵 －

株式会社野村総合研究所
未来創発センター

制度戦略研究室長 梅屋 真一郎

未来価値研究室 武田 佳奈

2021年10月

NRI

Share the Next Values!



【当資料の表記に関する補足】

- コロナの影響でシフトが減少しているパート・アルバイト就業者のことを「シフト減パート・アルバイト」と記します。
- 「シフト減パート・アルバイト」のうち、新しい仕事を探したいと思っている人のことを、「転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性」と記します。
- 本資料で用いている「シフト」とは、割り当てられている業務量（勤務日数や勤務時間数）のことを指します。
- 本資料で用いる「給与のデジタル払い」と「給与の前払い」は、それぞれ以下のことを指します。
 - 「給与のデジタル払い」
現金の手渡しや銀行振り込みではなく、スマートフォンの決済アプリや電子マネーを利用して給与を受け取ることができる制度のこと
 - 「給与の前払い」
すでに働いた分の給与を給料日より前に受け取ることができる仕組みのこと
(これから働く予定の分の給与を受け取る「前借り」とは異なる)

調査結果サマリーと雇用移動円滑化への提言

調査結果サマリー

- 今年5月に実施した調査の結果、シフト減パート・アルバイト女性の2人に1人が転職を希望しており、うち8割は現在と異なる仕事への転職を希望または許容していることが判明
- そこで、今後の雇用移動円滑化に向けた課題や有効な方策を明らかにするため、転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性を対象に、追加で調査を実施した結果、下記のことが分かった
 - ・ 転職希望があるにもかかわらず仕事探しを始めていない人の4人に1人が経済面の不安（転職活動期間中の収入減）を理由に仕事探しを始めていない
 - ・ 転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性の7割強が、コロナの影響を受けても求人が減っていない、または増えている業界・業種に転職することに前向き
 - ・ 転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性の約8割が、資格取得支援があった場合、転職に有効とされる資格や免許を取得して転職することに前向き
 - ・ シフト減パート・アルバイト女性の8割超は、資格取得や職業訓練にかかる金銭的負担を軽減したり、資格取得中や訓練中の経済的不安感を解消する制度があることで、「新しい仕事を探すことに挑戦しやすくなると思う」と回答
 - ・ 給与をすぐに利用できるデジタルマネーで受け取れたり、働いた分の給与を給与日より前に受け取ったりできることで、「転職に挑戦しやすくなると思う」とする人はそれぞれ過半数に及ぶ

雇用移動円滑化への提言

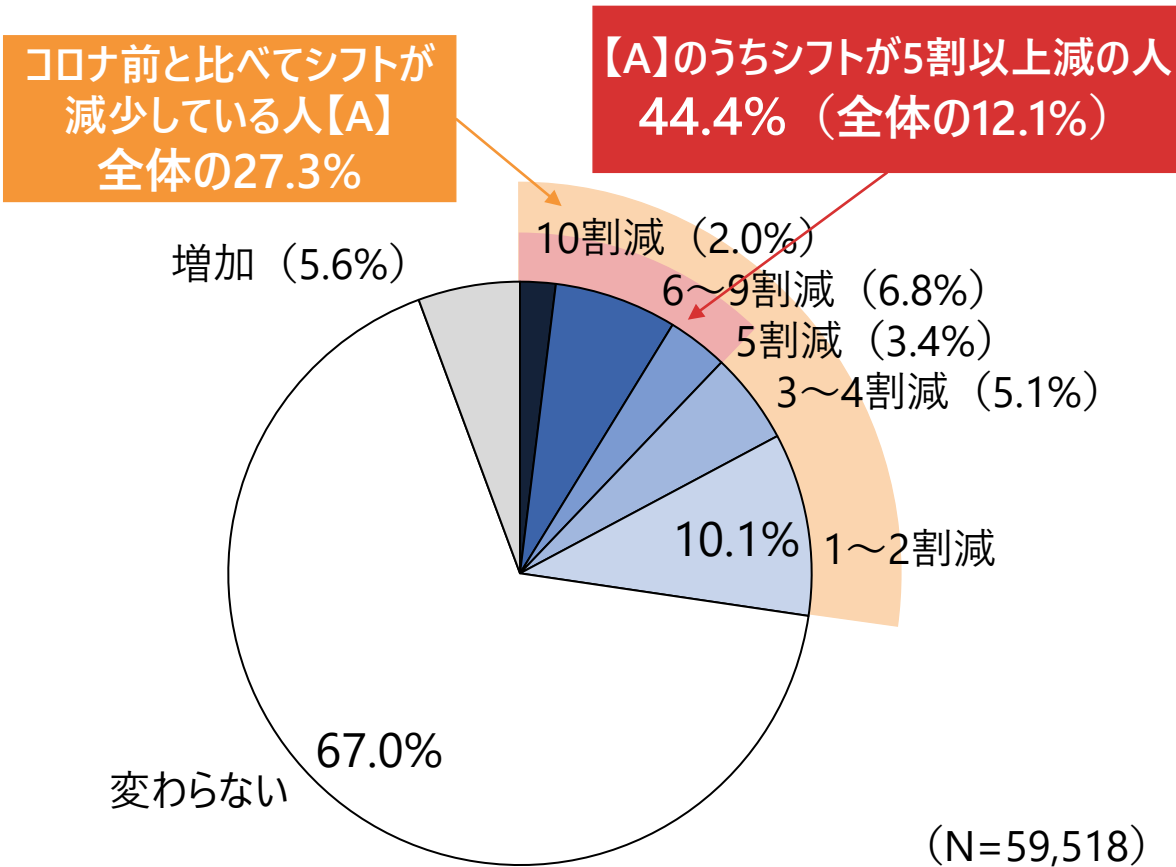
- 資格取得や職業訓練に対する経済的支援は、転職意向のあるシフト減パート・アルバイト女性の経済面の不安を解消させ、転職活動の開始を促すことができる可能性がある。資格取得や職業訓練の「機会の提供」と合わせて、それらに係る「経済的支援」の強化が、雇用移動円滑化に有効
- 加えて、転職直前・直後であっても家計を安定させられるような、例えば、給与をすぐに利用できるデジタルマネーで受け取れる「給与のデジタル払い」制度や働いた分の給与を給与日より前に受け取れる「給与の前払い」制度の検討も、雇用移動円滑化に有効な可能性がある

コロナによるシフト減パート・アルバイト女性の実態（2021年5月調査結果より）

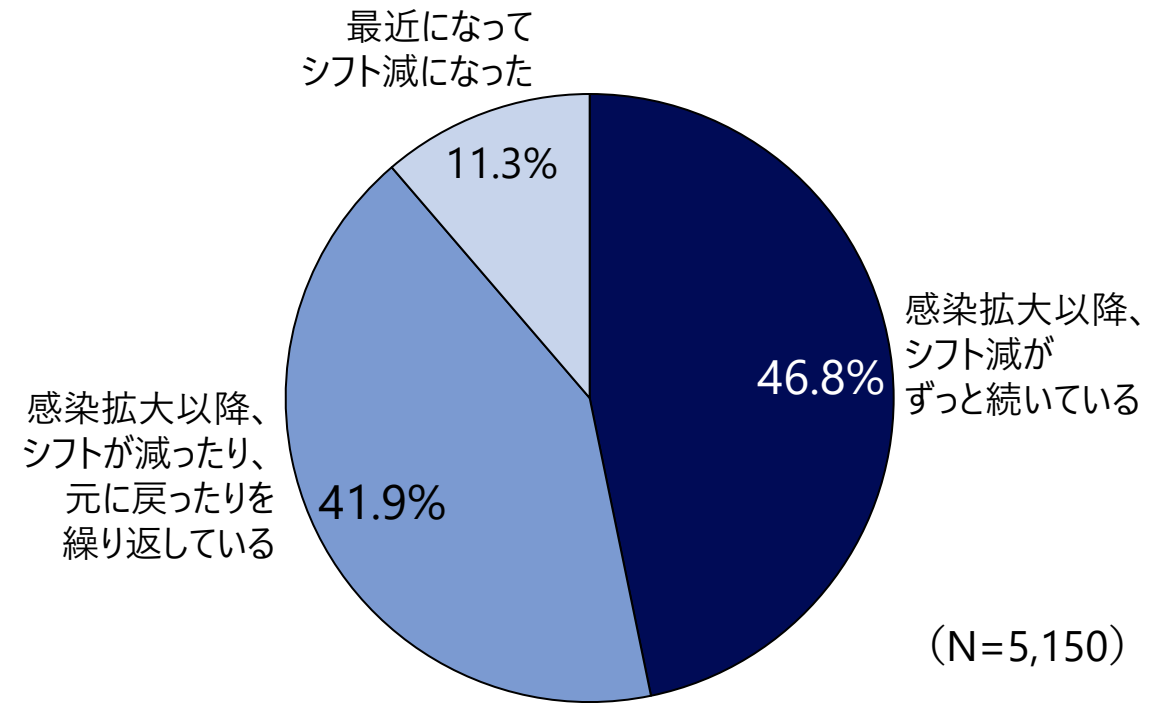
【2021年5月調査結果】パート・アルバイト就業者の就労実態

新型コロナでシフトが減少するパート・アルバイト女性の約半数が、感染拡大以降ずっとシフト減の状況が続く

新型コロナ流行前と比べたシフトの変化 【パート・アルバイト女性】



新型コロナ流行以降のシフト減少状況【シフト減のパート・アルバイト女性】



(出所) 左：NRI「パート・アルバイト就業者の実態に関する調査」(2021年5月)

右：NRI「コロナによる休業・シフト減のパート・アルバイト就業者の実態に関する調査」(2021年5月)

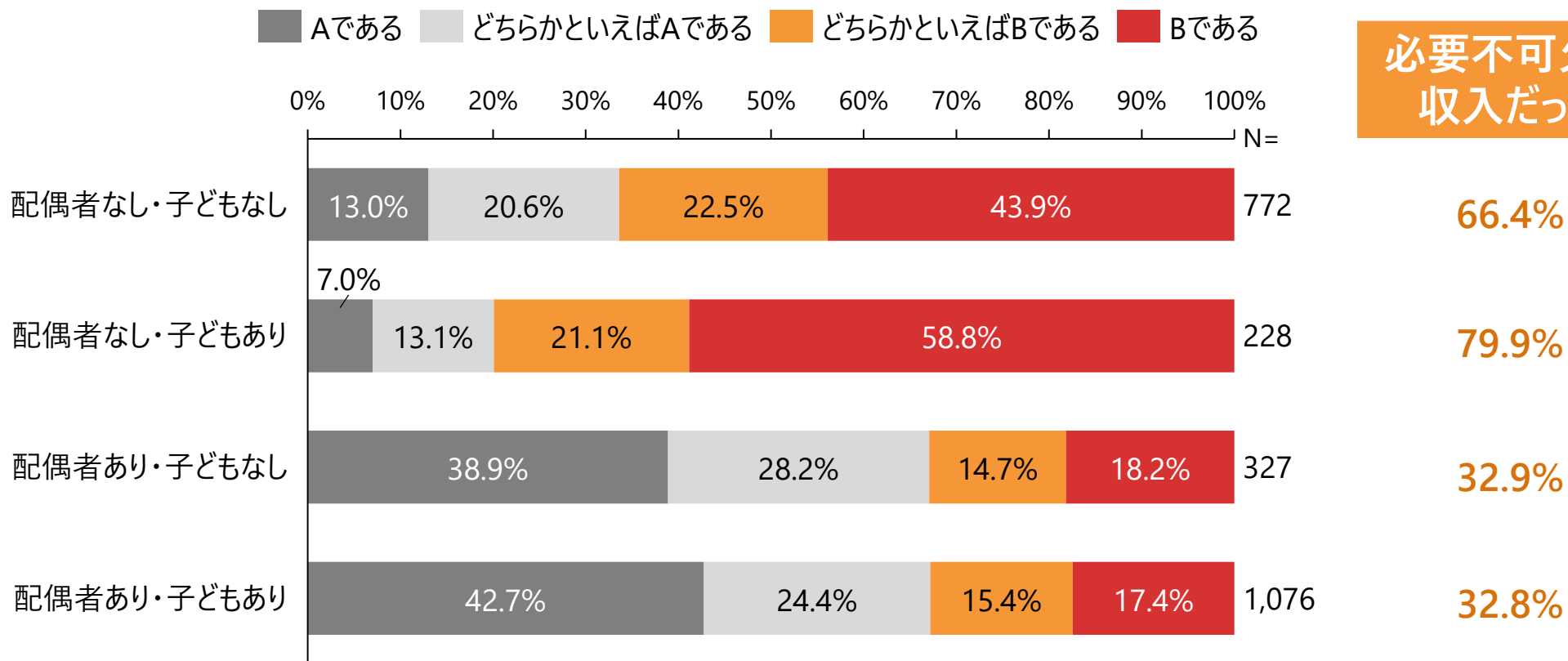
【2021年5月調査結果】長期に渡りシフト減のパート・アルバイト女性の特徴

単身女性や母子世帯はもとより、配偶者のいる人であっても3人に1人は、
「自身のパート・アルバイト収入が世帯の基本的な暮らしに必要な不可欠だった」

パート・アルバイト収入の位置づけ 【感染拡大以降、シフト減がずっと続いているパート・アルバイト女性、世帯類型別】

【A】あなたのパート・アルバイト先の収入は、あなたの世帯がよりよい暮らしをするためのあくまで補助的な収入であった

【B】あなたのパート・アルバイト先の収入は、あなたの世帯が基本的な暮らしをしていくために必要不可欠な収入であった

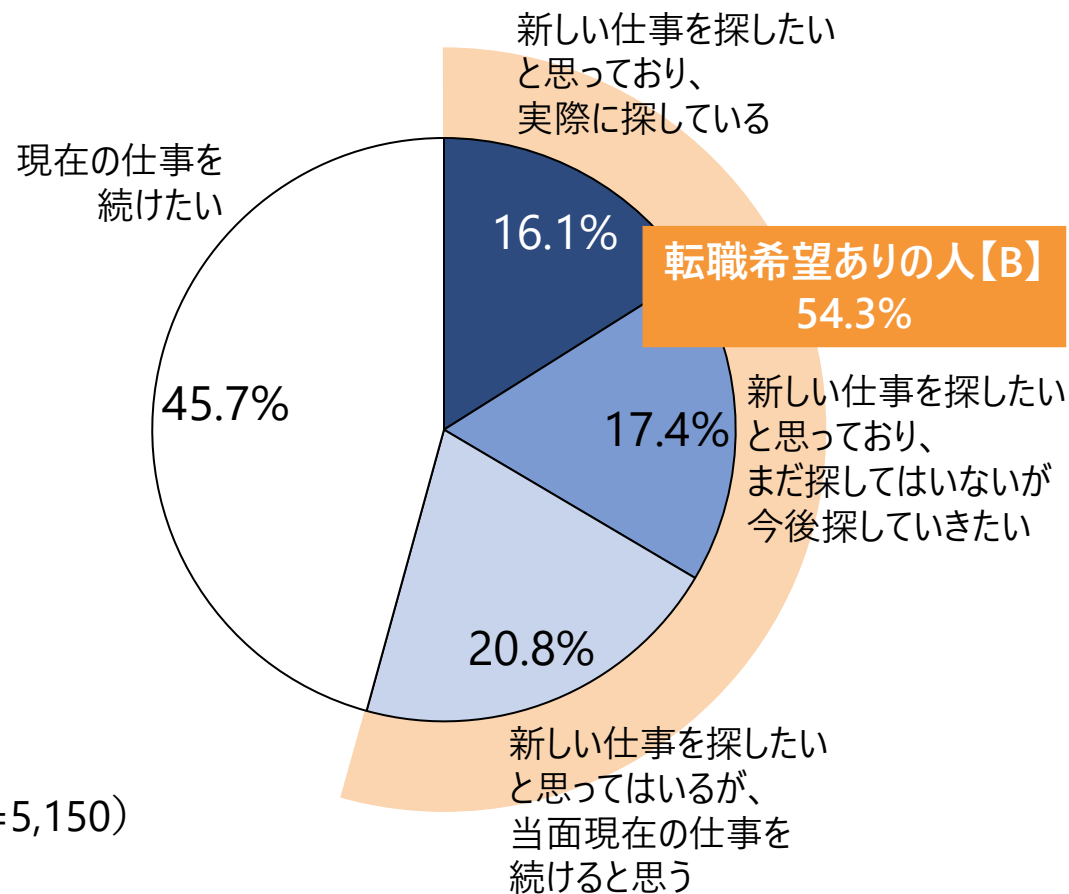


【2021年5月調査結果】長期に渡りシフト減のパート・アルバイト女性の特徴

コロナでシフト減のパート・アルバイト女性の2人に1人が転職希望あり うち8割は現在と異なる職種への転職を希望または許容

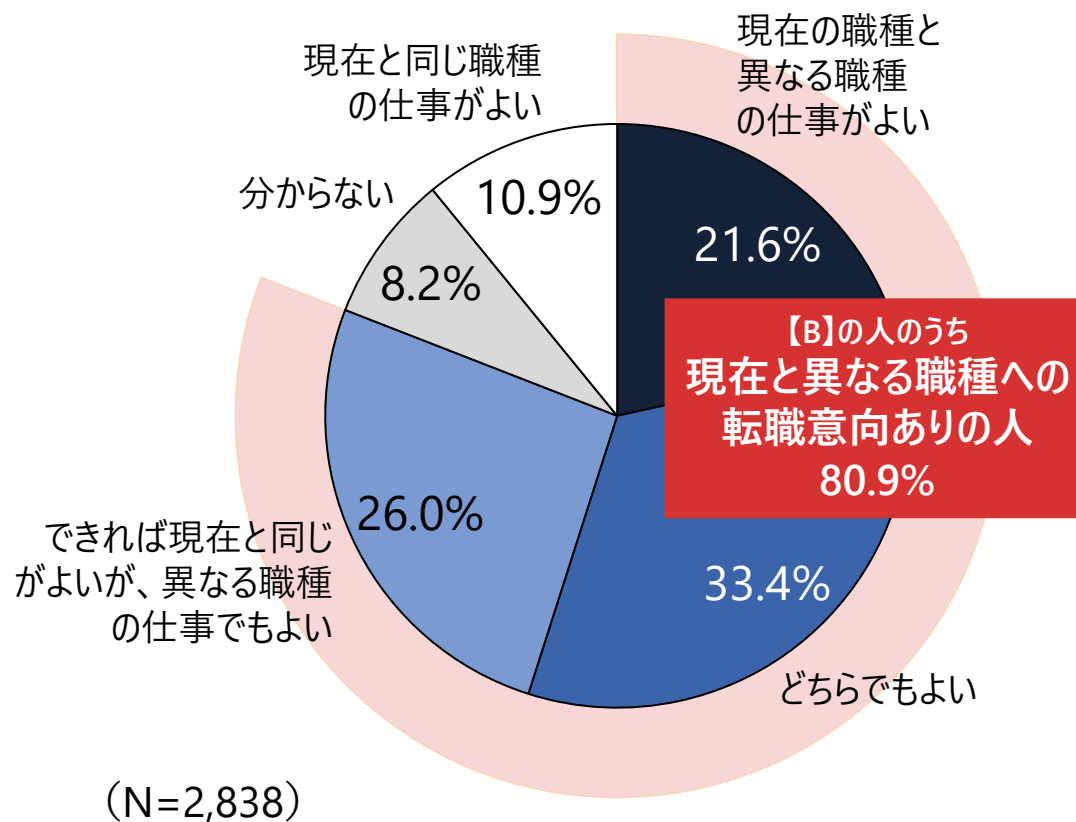
今後の就労についての意向

【シフト減のパート・アルバイト女性】



現在と異なる仕事への転職意向

【シフト減のパート・アルバイト女性で転職希望ありの人】



コロナでシフト減のパート・アルバイト女性の転職意向に関する調査結果（2021年8月）

調査の概要

【調査名】

- コロナによるシフト減パート・アルバイト就業者の転職意向に関する調査

【調査方法】

- インターネットアンケート

【調査時期】

- 2021年8月4日（水）～8月5日（木）

【対象者条件】

- 全国の20～59歳でパート・アルバイトで就業する女性のうち、下記の条件を満たす人
 - 新型コロナウイルス感染拡大の影響でシフトが減少している
 - 「新しい仕事を探したい（転職意向あり）」と思っている

本資料では、「**転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性**」と記載

【サンプル数】

- 2,060人

【その他】

- 本資料に記載の構成比は、小数点以下第2位で四捨五入して表記しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
- 「コロナの影響を受けても求人が減っていない、または増えている業界・業種」および「転職に有効とされる資格や免許」については、人材採用サービスを展開するHRソリューションズ株式会社へのヒアリング結果を参考にしました。

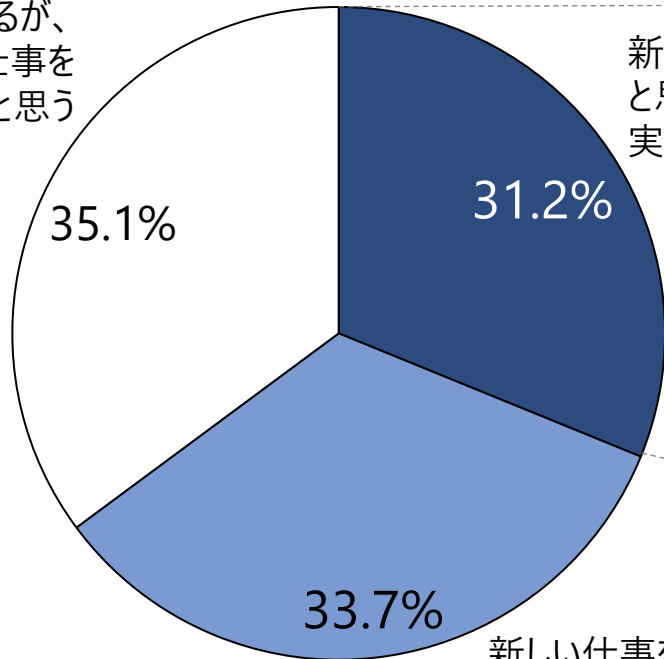
転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性における転職活動の現状

転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性で、実際に転職活動を行っている人の過半数で、仕事を探している期間が2か月以上に及んでいる

新しい仕事を探すことについての意向と現状

【転職希望のあるシフト減のパート・アルバイト女性】

新しい仕事を探したい
と思っはいるが、
当面現在の仕事を
続けると思う



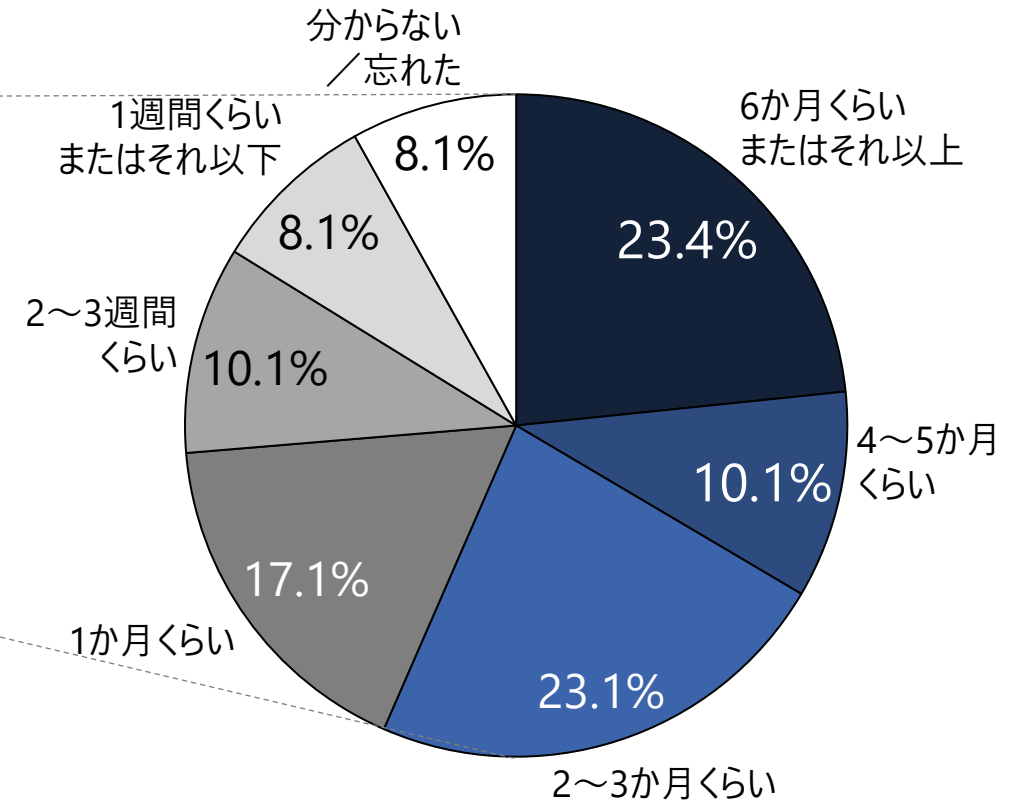
新しい仕事を探したい
と思っはいるが、
実際に探している

新しい仕事を探したい
と思っはいるが、
まだ探してはいるが
今後探していきたい

(N=2,060)

新しい仕事を探している期間

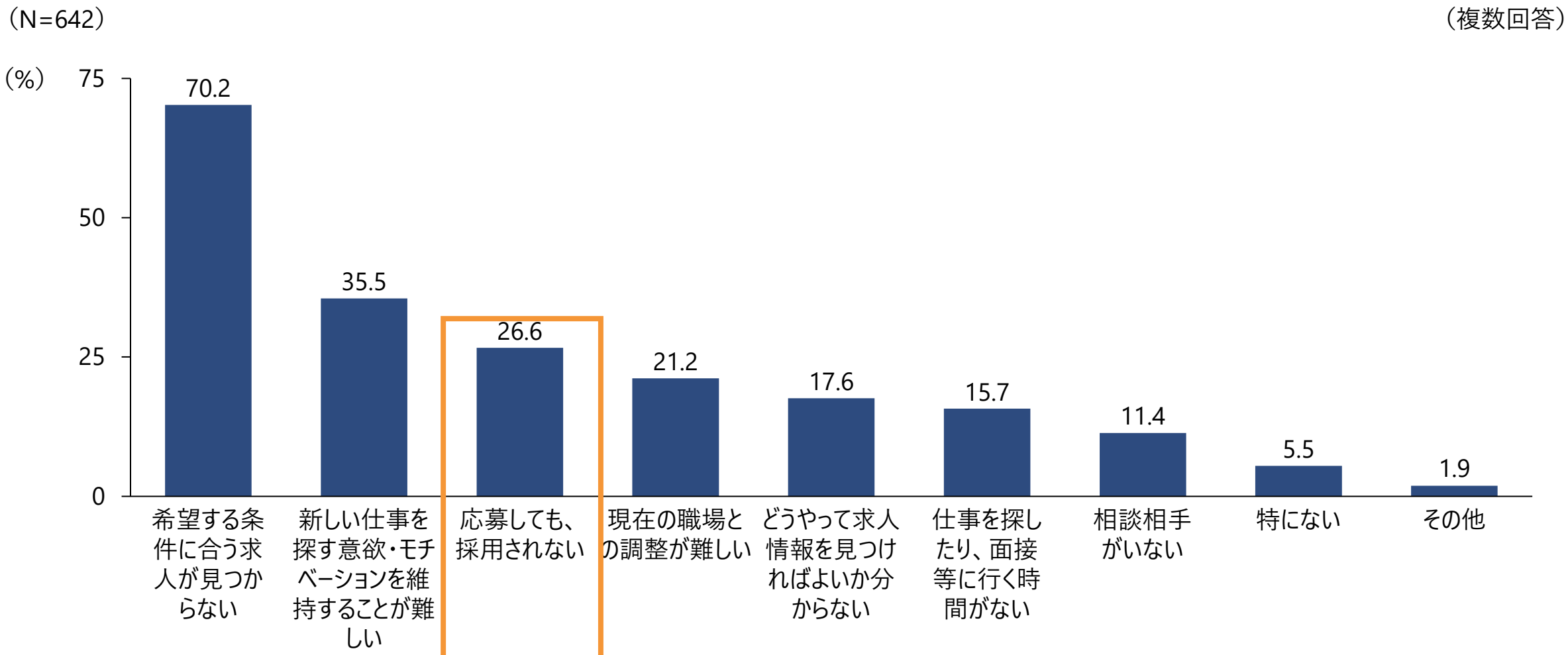
【転職希望のあるシフト減パート・アルバイトで、実際に新しい仕事を探している女性】



(N=642)

シフト減パート・アルバイトで新しい仕事を探している女性の4人に1人が「応募しても採用されない」

新しい仕事を探す上で苦労していること 【転職希望のあるシフト減パート・アルバイトで、実際に新しい仕事を探している女性】

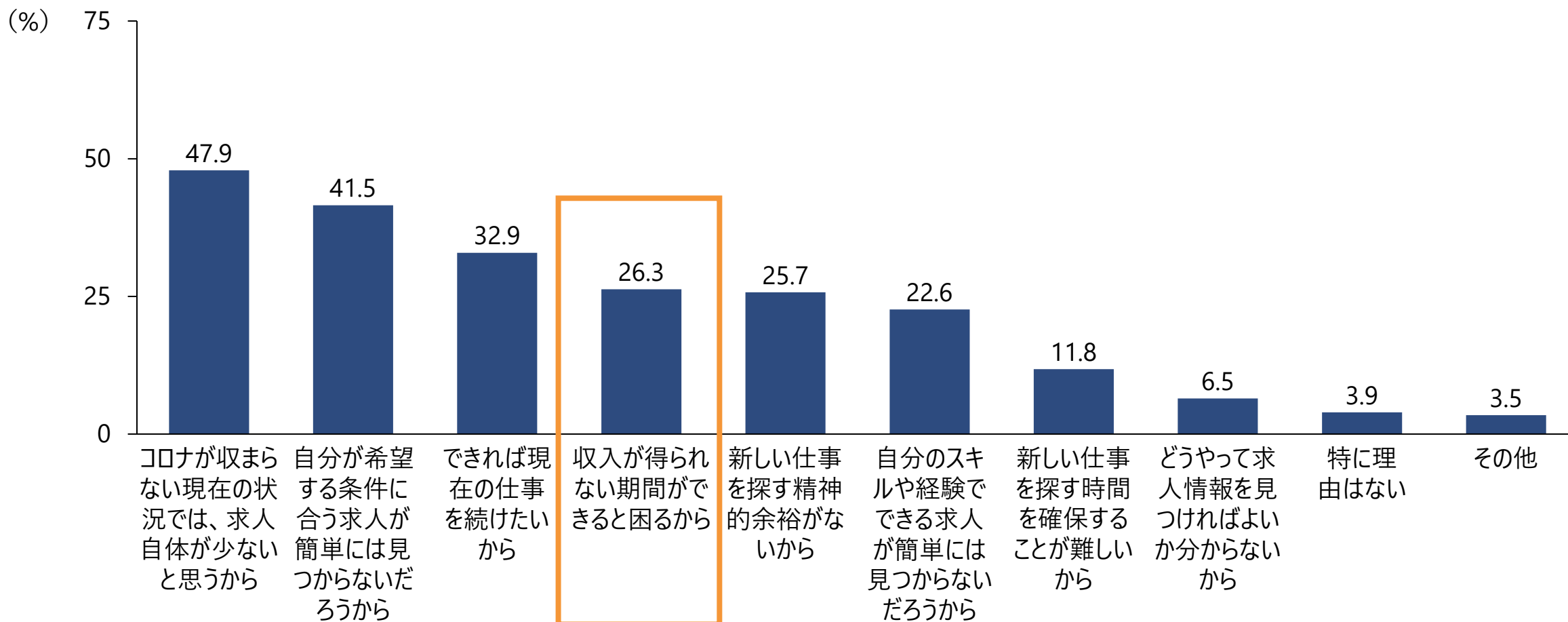


転職希望があるにもかかわらず仕事探しを始めていない人の4人に1人が、「収入が得られない期間ができる」と困るから」と経済面の不安を理由に仕事探しを始めていない

新しい仕事を探さない理由 【転職希望のあるシフト減パート・アルバイトで、まだ新しい仕事を探していない女性】

(N=1,418)

(複数回答)

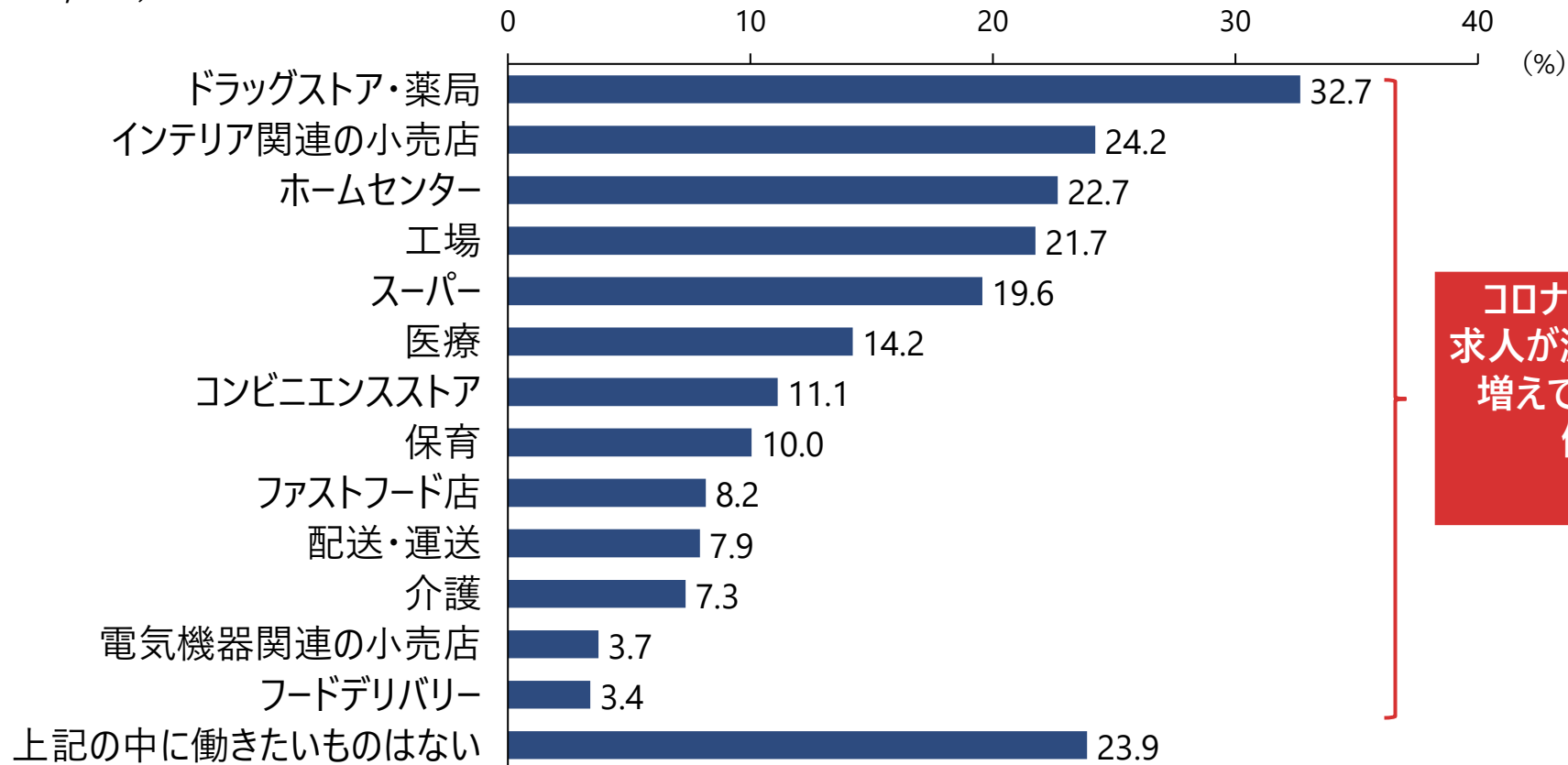


転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性の7割強が、コロナの影響を受けても求人が減っていない、または増えている業界・業種への転職に前向き

コロナの影響を受けても求人が減っていない、または増えている業界・業種 (注) の中で働いてみたいもの
【転職希望のあるシフト減のパート・アルバイト女性】

(N=2,060)

(複数回答)



コロナの影響を受けても
求人が減っていない、または
増えている業界・業種で
働いてみたい
76.1%

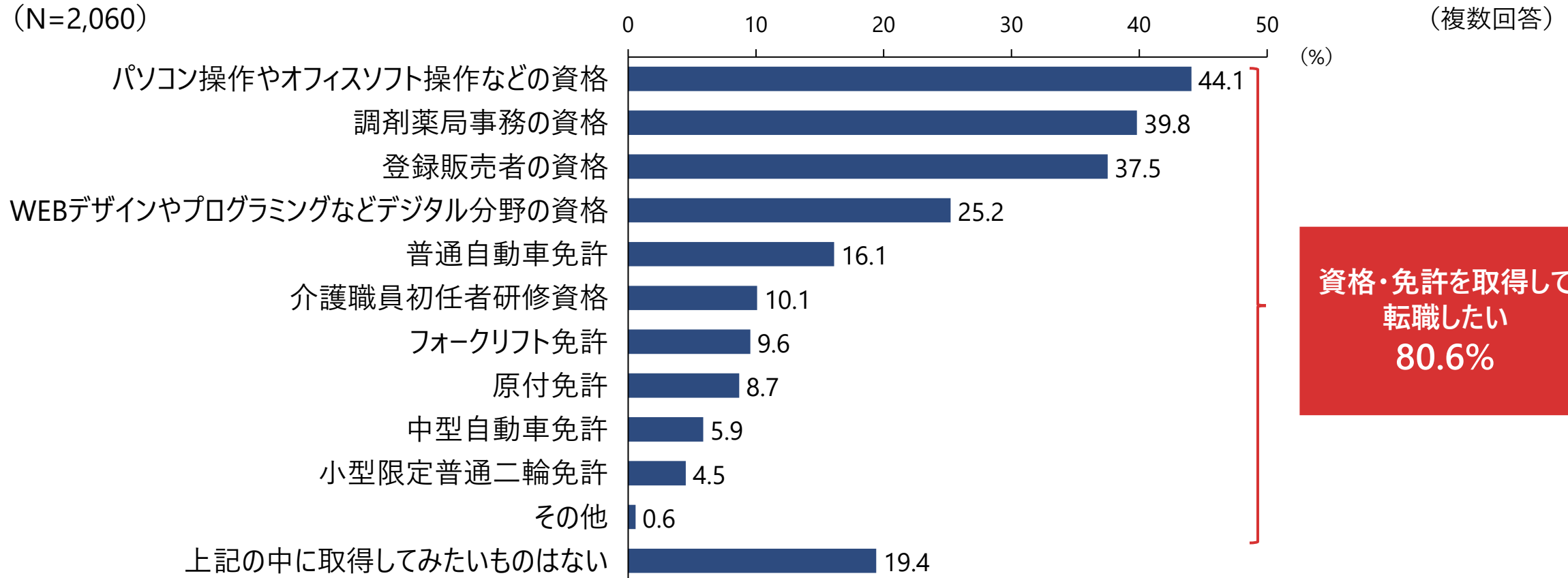
(注) 本質問の選択肢に挙げた「コロナの影響を受けても求人が減っていない、または増えている業界・業種」は、人材採用サービスを展開するHRソリューションズ株式会社へのヒアリング結果を参考にした。

(出所) NRI「コロナによるシフト減パート・アルバイト就業者の転職意向に関する調査」(2021年8月)

転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性の約8割が、「資格取得サポートがあった場合、転職に有効とされる資格や免許を取得して転職してみたい」と回答

資格取得サポート^(注1)があった場合に、転職に際し、取得してみたい資格・免許^(注2) 【転職希望のあるシフト減のパート・アルバイト女性】

(N=2,060)

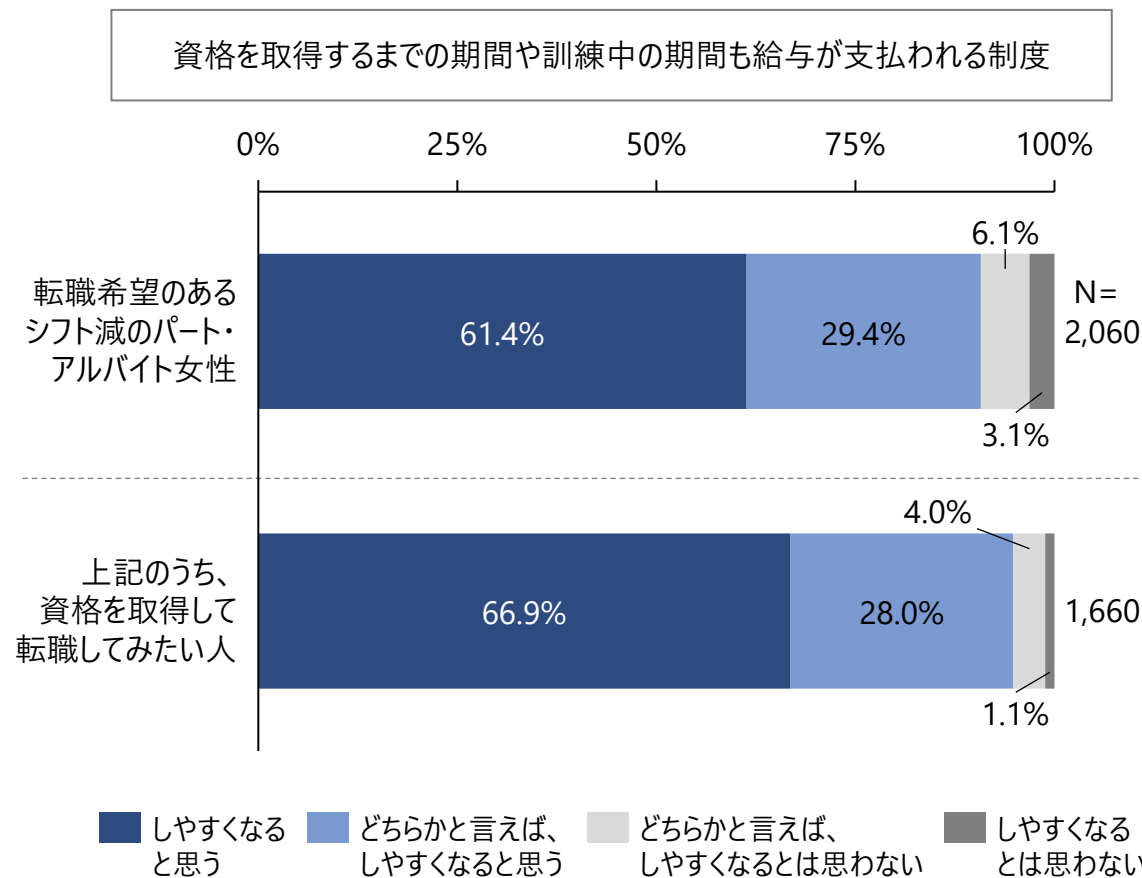
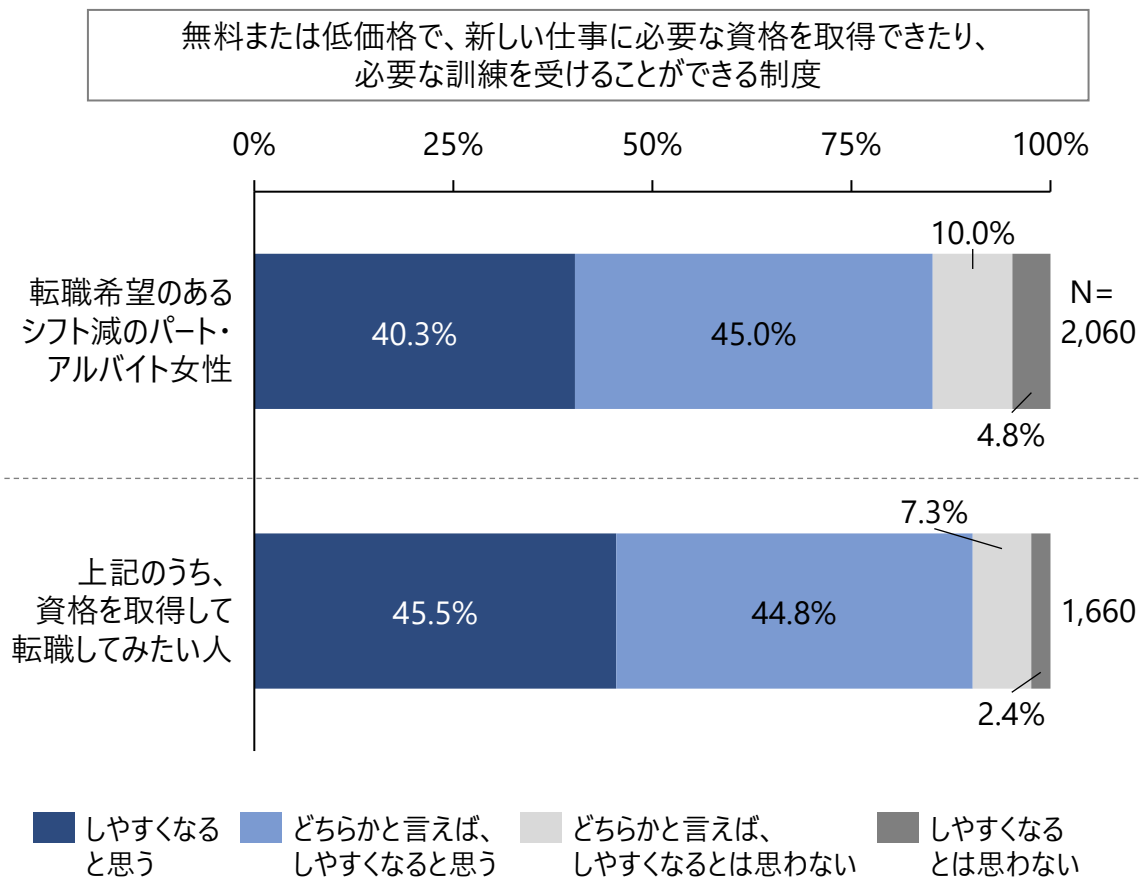


(注1) 本設問は、「無料または低価格で、必要な資格を取得できたり、資格取得までの期間にも一定の給与を受け取れる制度（本資料では「資格取得サポート」と表記）があった場合」と提示して聴取した。

(注2) 本設問の選択肢に挙げた資格及び免許は、人材採用サービスを展開するHRソリューションズ株式会社へのヒアリング結果を参考にした。

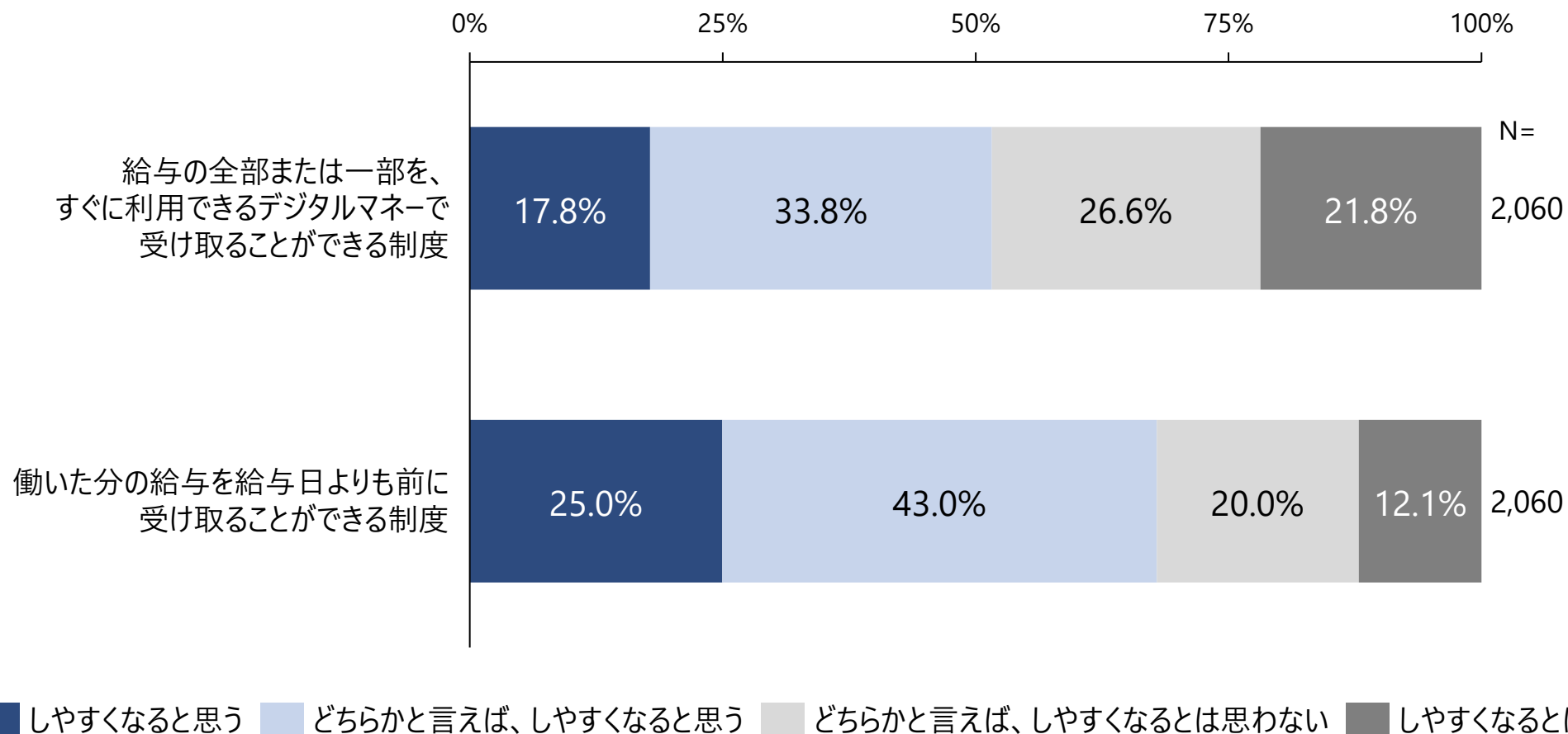
例えば、資格取得や職業訓練にかかる金銭的負担を軽減したり、資格取得中や訓練中の経済的不安感を解消する制度があった場合、シフト減パート・アルバイト女性の8割超が「新しい仕事を探すことに挑戦しやすくなると思う」

下記のような制度があると新しい仕事を探すことに挑戦しやすくなると思うか 【転職希望のあるシフト減のパート・アルバイト女性】



給与をすぐに利用できるデジタルマネーで受け取れたり、働いた分の給与を給与日より前に受け取ることができることで、「転職に挑戦しやすくなると思う」とする人も、それぞれ過半数に及ぶ

下記のような制度があると新しい仕事を探すことに挑戦しやすくなると思うか 【転職希望のあるシフト減のパート・アルバイト女性】



シフト減パート・アルバイト女性の経済面の不安解消へ寄与する可能性が見えた
「給与のデジタル払い」、「給与の前払い」について、
正社員を含む就労者を対象に利用意向等に関する調査も実施したので報告する

調査の概要

【調査名】

- 「デジタル給与払い」に関する調査

【調査方法】

- インターネットアンケート

【調査時期】

- 2021年8月4日（水）～8月5日（木）

【対象者条件】

- 全国の20～59歳で、正社員またはパート・アルバイトで働く人

【サンプル数】

- 5,776サンプル
 - ・ 年代・男女・雇用形態別（20代～50代の4区分×男女の2区分×正社員/パート・アルバイトの2区分、計16セル）均等割付で回収（各361サンプル）。集計時、総務省「労働力調査（基本集計）2021年5月分結果」に基づく構成比に合わせてウェイトバック処理を行った

【その他】

- 図中には、実際に回収したサンプル数（年代・男女・雇用形態別に均等割り付け回収）を記載しています。また、本資料に記載の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります

「給与のデジタル払い」の利用の実態と意向

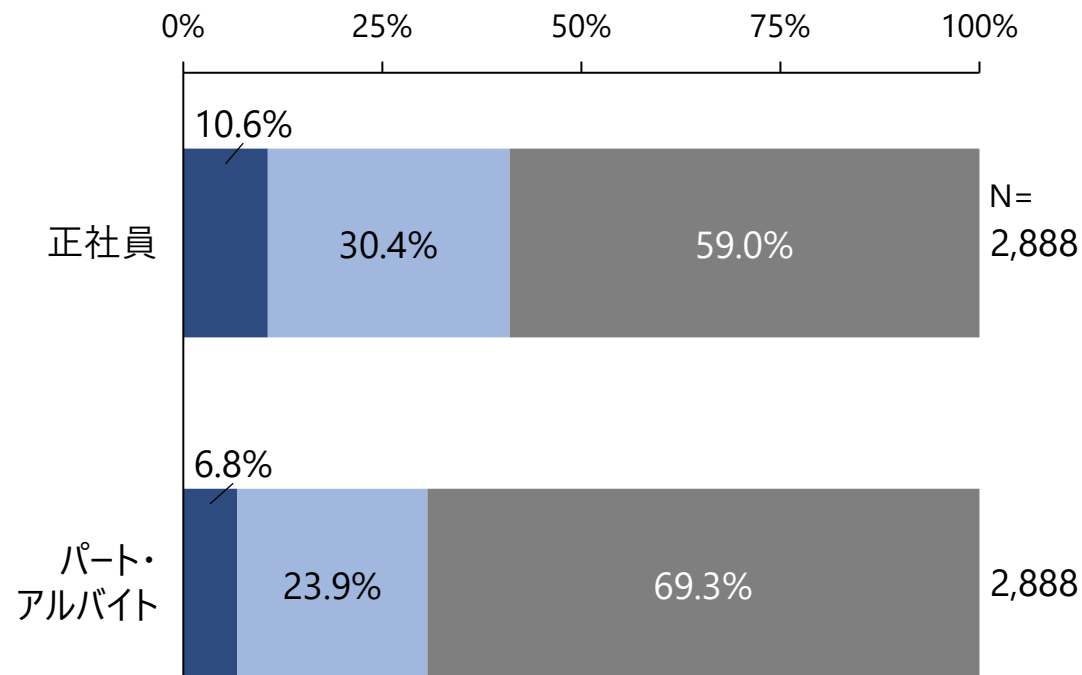
本調査における「給与のデジタル払い」の定義

現金の手渡しや銀行振り込みではなく、スマートフォンの決済アプリや電子マネーを利用して給与を受け取ることができる制度のこと

「給与のデジタル払い」について

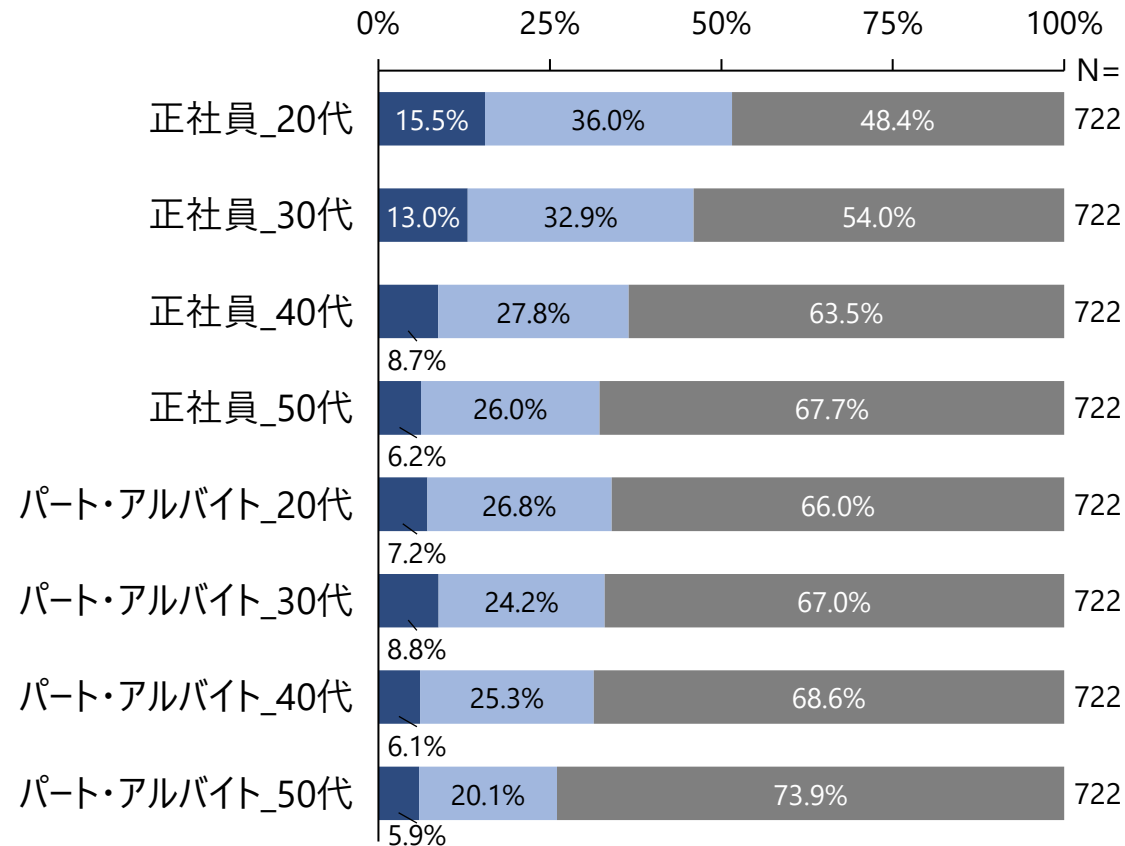
正社員の約4割、パート・アルバイトの約3割が、「給与のデジタル払い」を利用してみたいと回答
若い世代の方が利用意向を示す人の割合が多い傾向が見られる

「給与のデジタル払い」の利用意向 【雇用形態別】



■ 給与の全てで利用してみたい ■ 給与の一部であれば利用してみたい ■ 利用してみたいとは思わない

「給与のデジタル払い」の利用意向 【雇用形態、年代別】

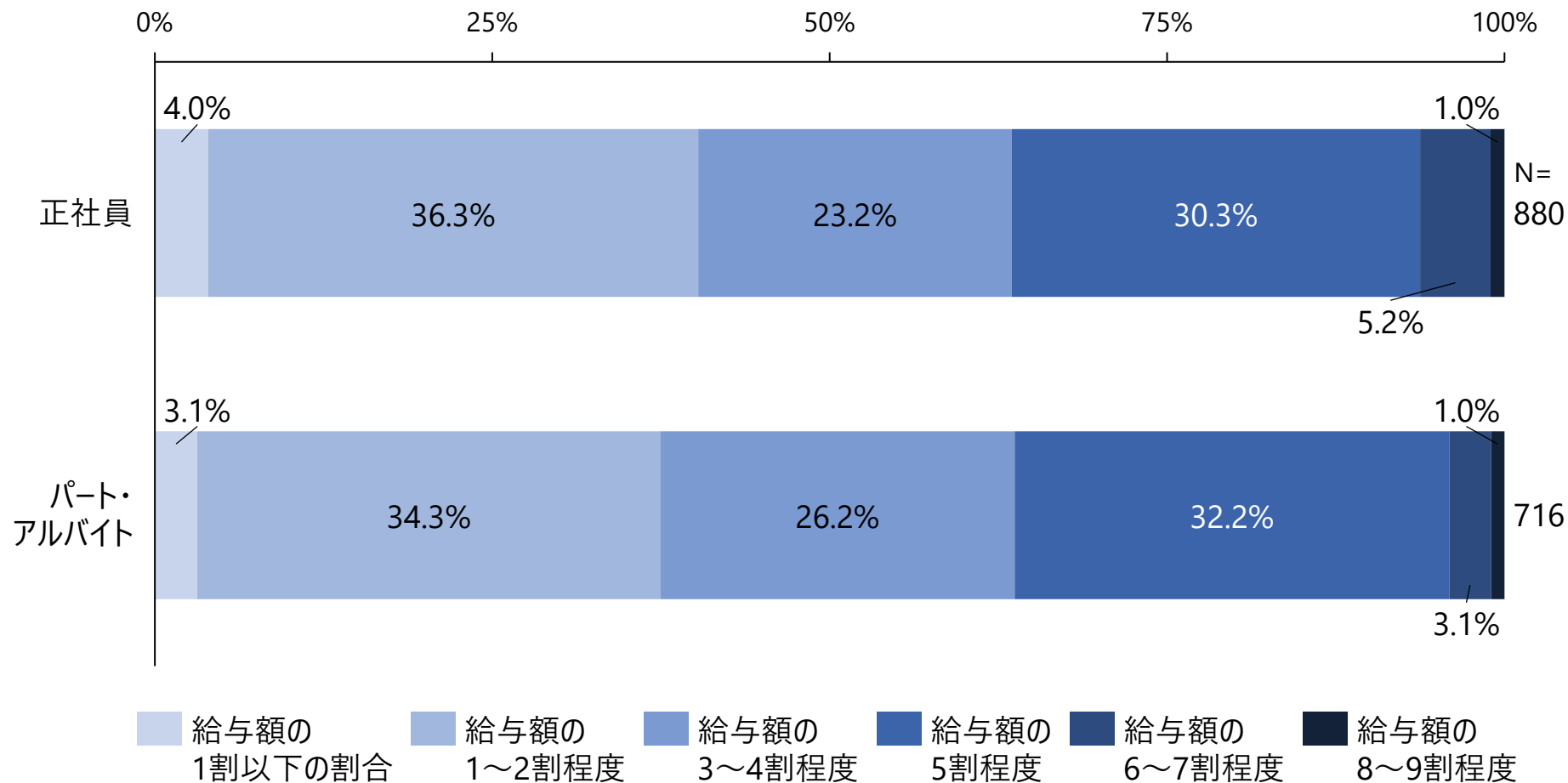


■ 給与の全てで利用してみたい ■ 給与の一部であれば利用してみたい ■ 利用してみたいとは思わない

「給与のデジタル払い」について

給与の一部であればデジタル払いを利用したい人の約4割は、給与額の2割以下の金額での利用を希望一方で、給与額の5割程度で利用したい人も約3割

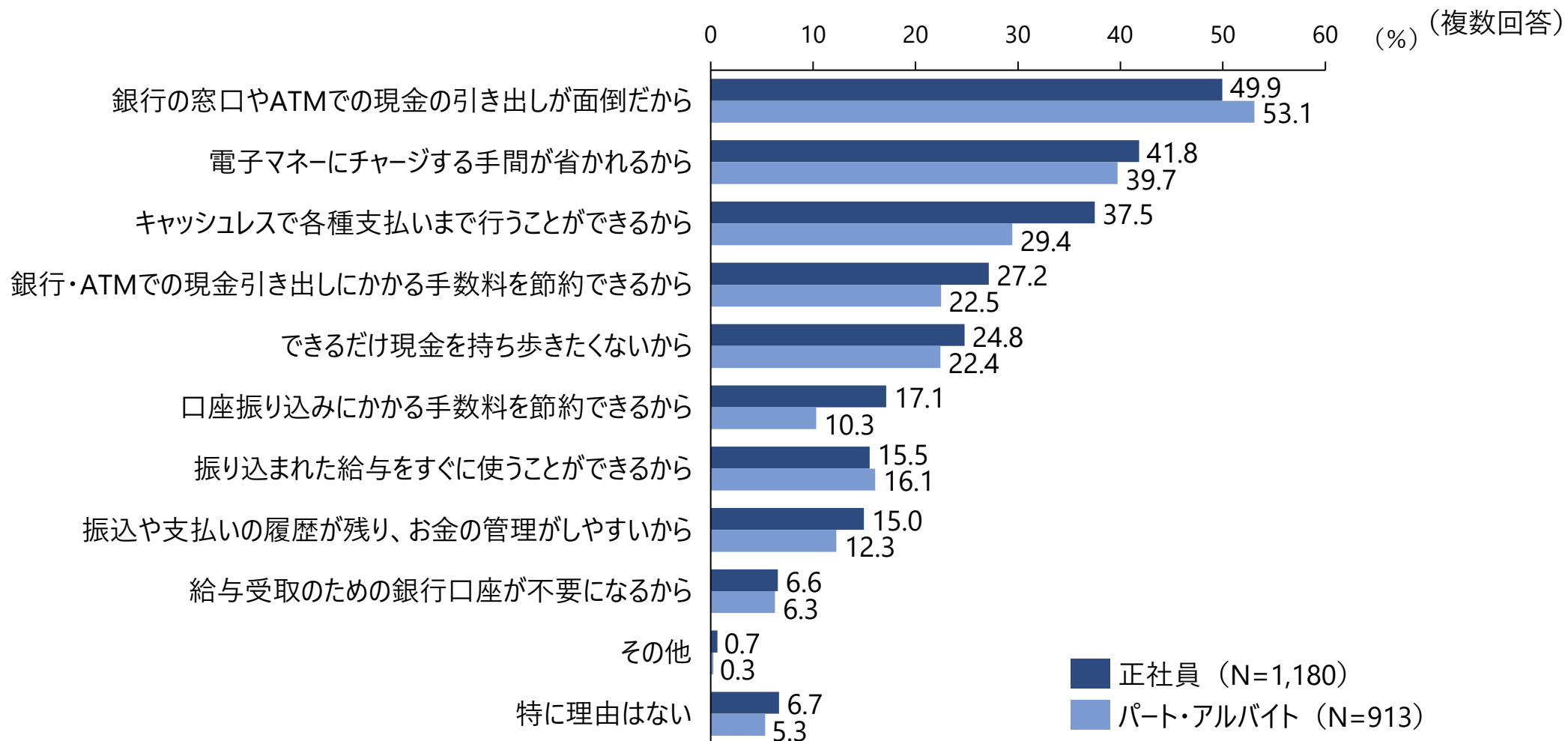
「給与のデジタル払い」を利用したい割合（全給与に占める割合）【給与の一部であれば「給与のデジタル払い」を利用してみたい人、雇用形態別】



「給与のデジタル払い」について

「給与のデジタル払い」を利用してみたい理由の最多は、「銀行の窓口やATMでの現金の引き出しが面倒」 特に若い世代にそう考える人が多い

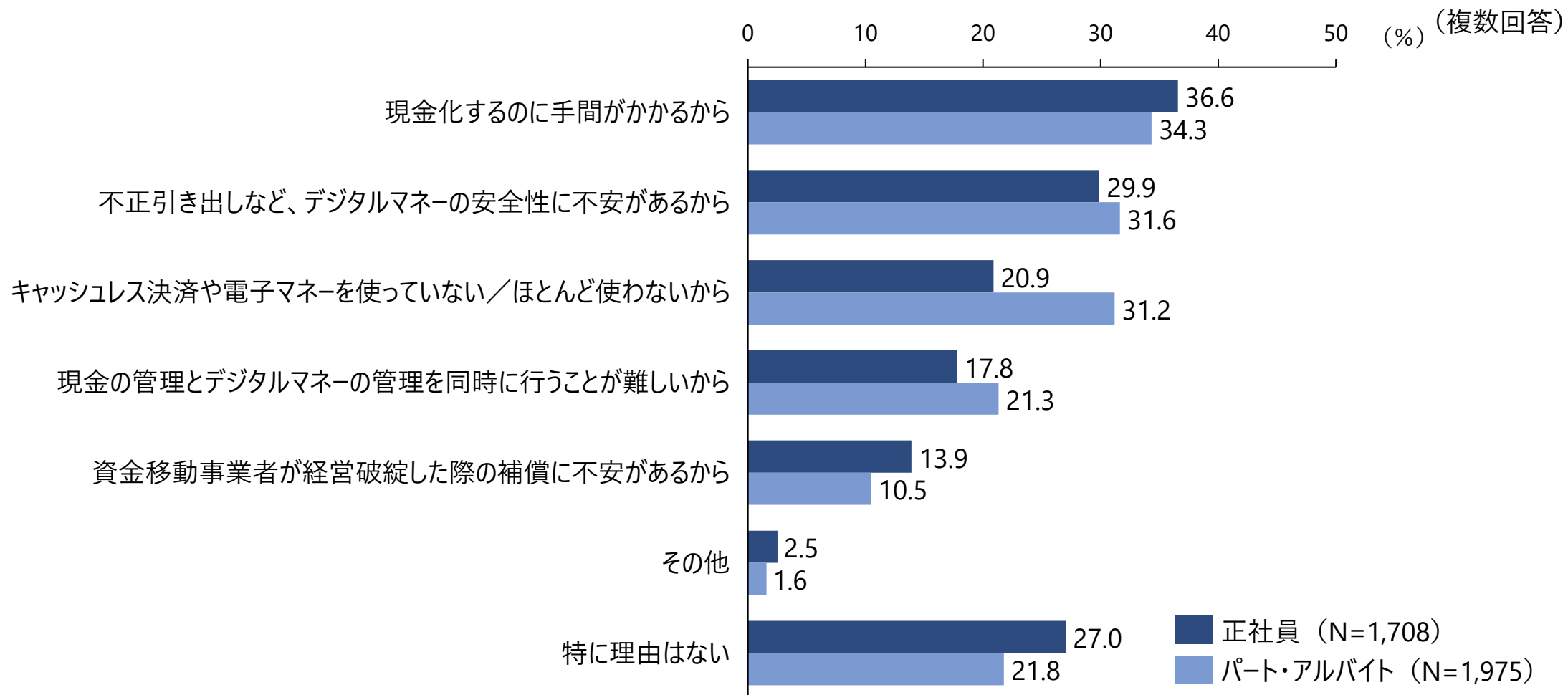
「給与のデジタル払い」を利用してみたい理由 【「給与のデジタル払い」を利用してみたい人、雇用形態別】



「給与のデジタル払い」について

「給与のデジタル払い」を利用してみたいと思わない理由の最多は、「現金化するのに手間がかかる」一方で、「特に理由はない」とする人も正社員で3割近く、パート・アルバイトで2割

「給与のデジタル払い」を利用してみたいと思わない理由 【「給与のデジタル払い」を利用してみたいと思わない人、雇用形態別】



「給与の前払い」の利用の実態と意向

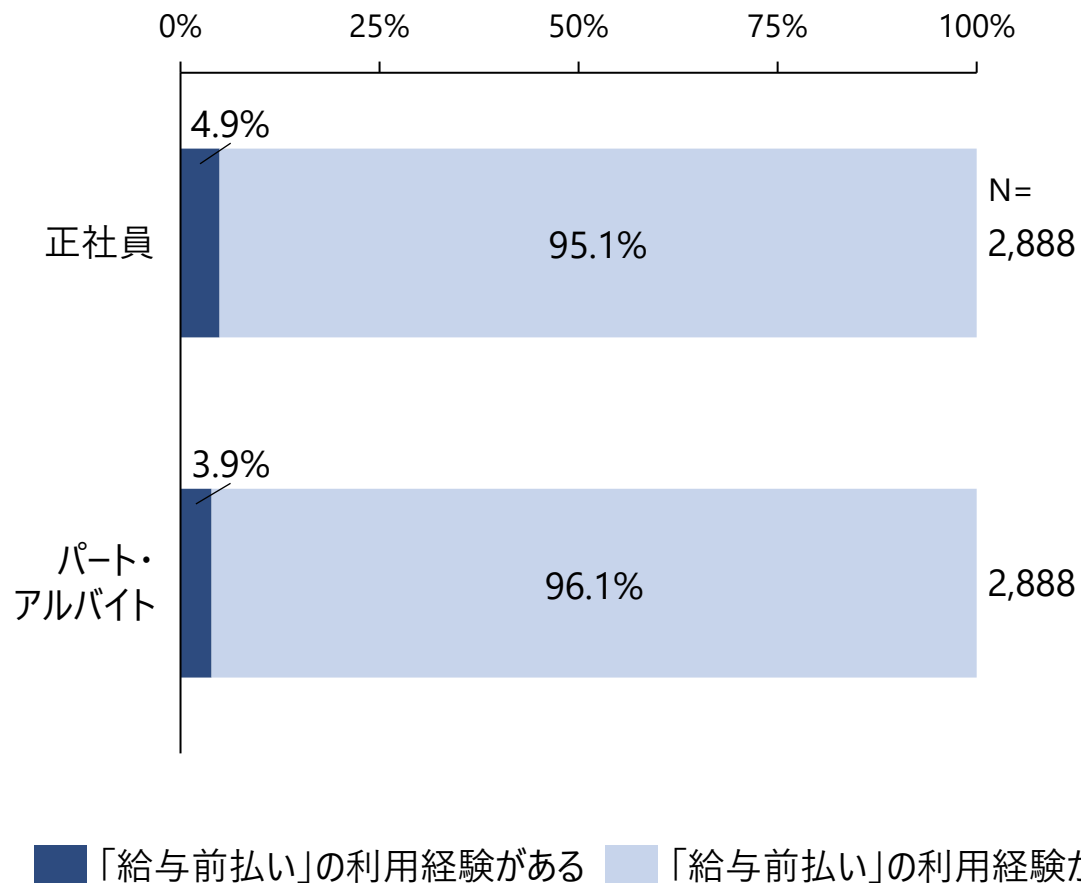
本調査における「給与の前払い」の定義

すでに働いた分の給与を給料日より前に受け取ることができる仕組みのこと
これから働く予定の分の給与を受け取る「前借り」とは異なる

「給与の前払い」について

大半の人は「給与の前払い」をしたことがない

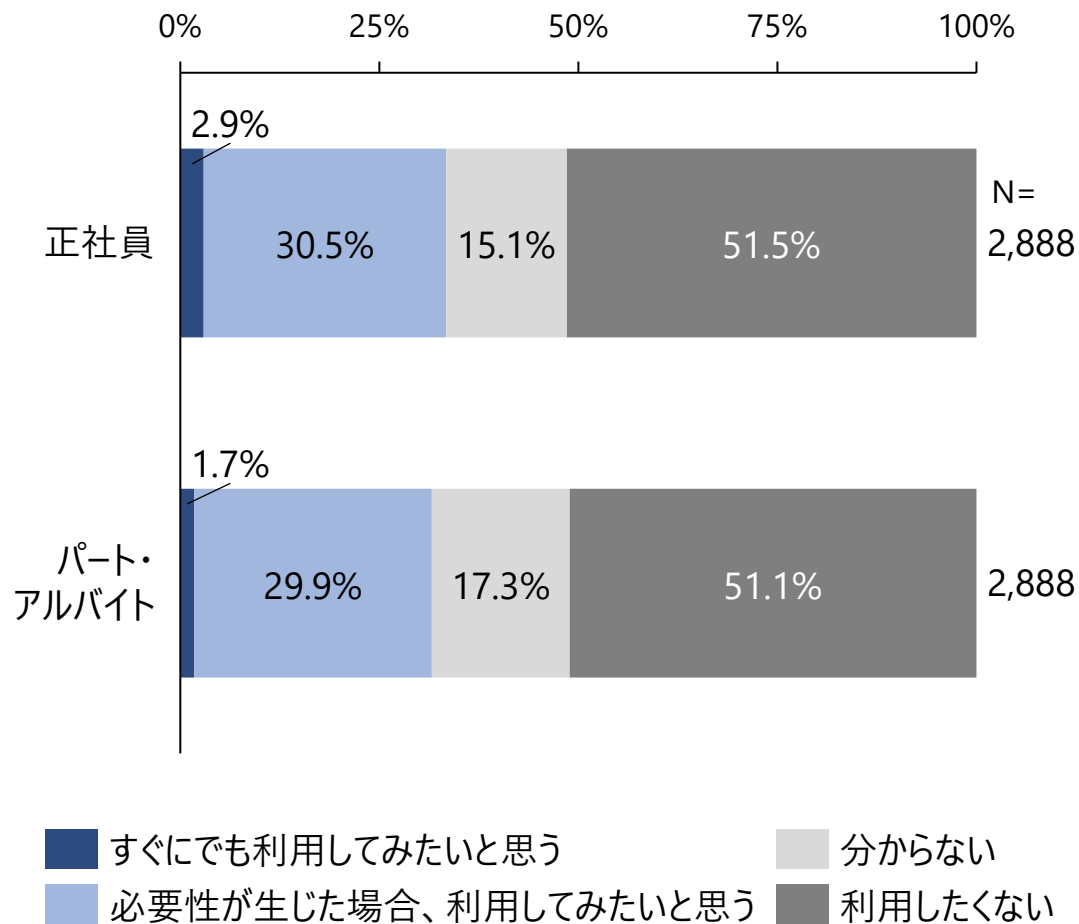
「給与前払い」の経験の有無 【雇用形態別】



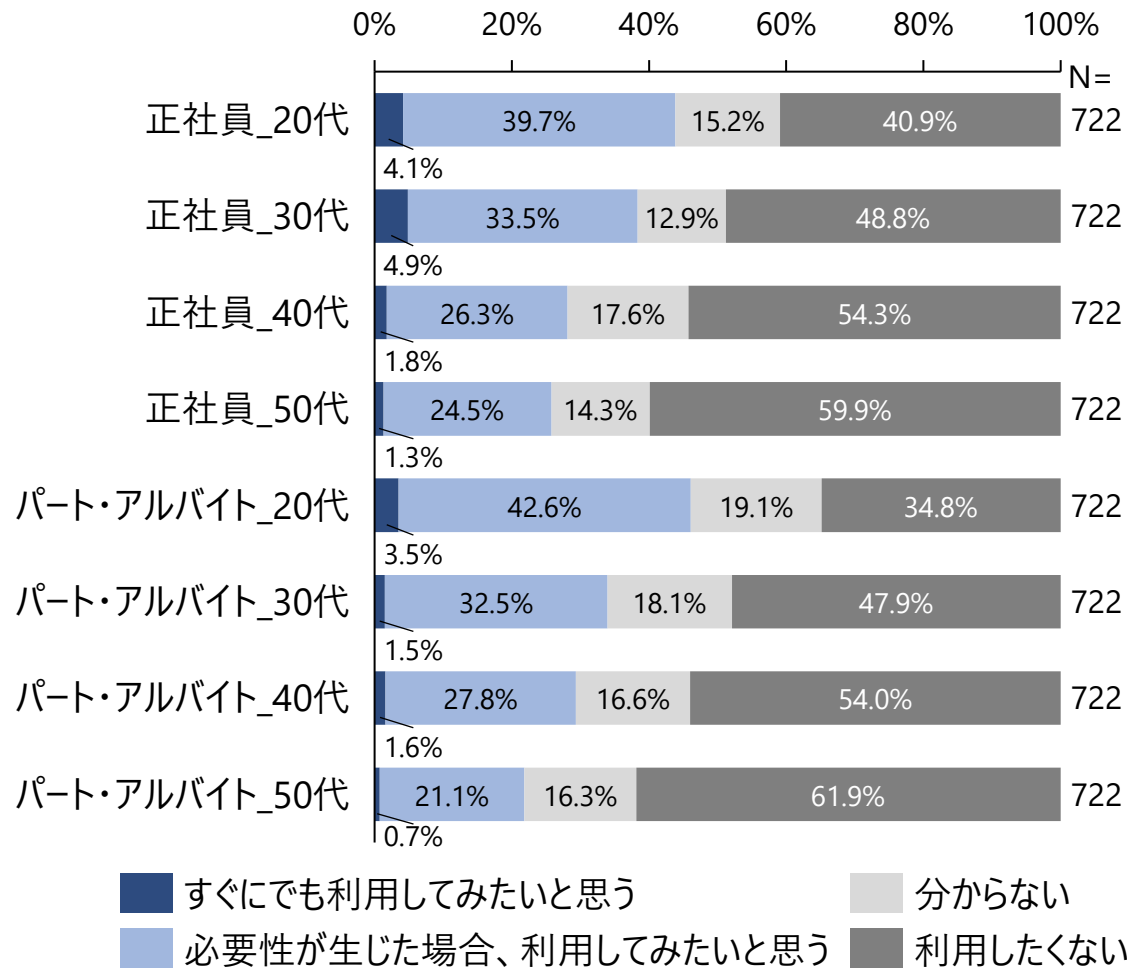
「給与の前払い」について

正社員、パートアルバイトいずれも、約3割の人が「給与の前払い」を利用してみたいと回答
特に20代に利用してみたいと回答した人が多く見られる

「給与前払い」の利用意向 【雇用形態別】



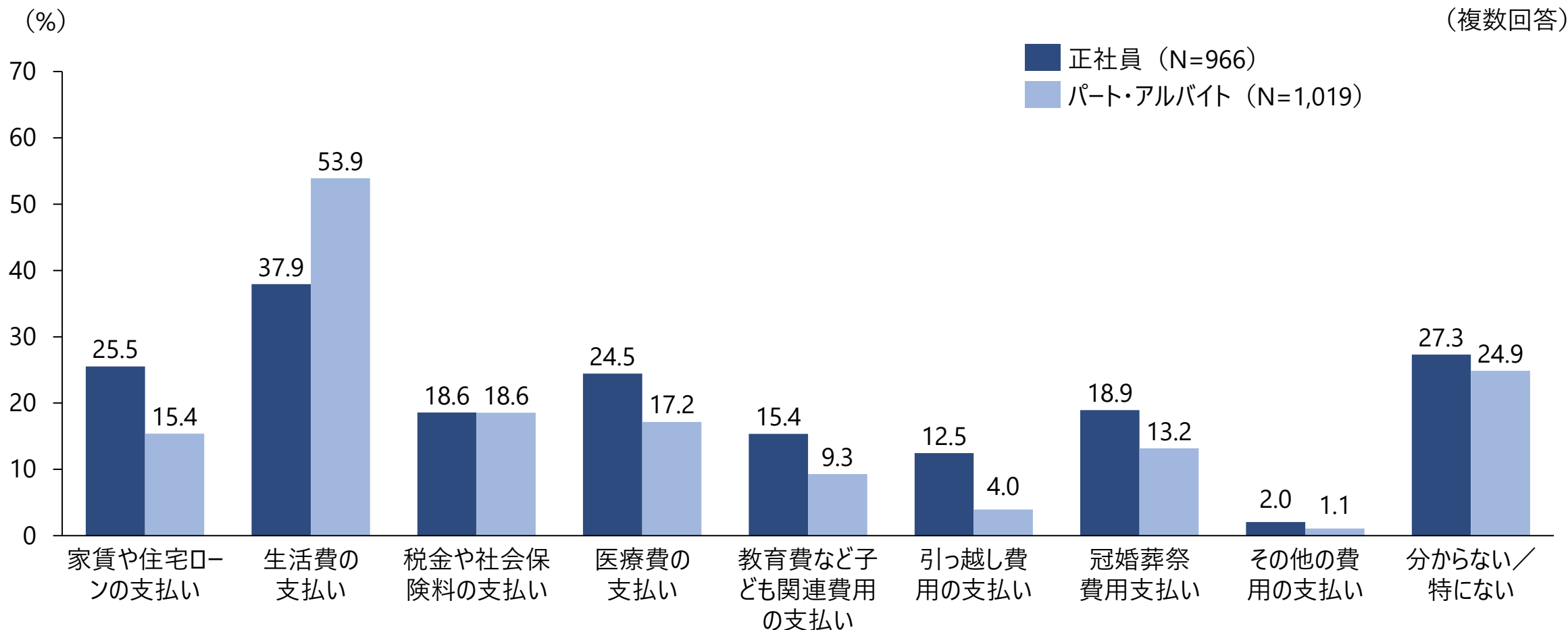
「給与前払い」の利用意向 【雇用形態、年代別】



「給与の前払い」について

「給与の前払い」で得た収入の利用用途は、正社員、パート・アルバイトいずれも「生活費の支払い」とする人が最多
特に、パート・アルバイトの人で、「生活費の支払い」に利用したいとする人の割合が高い

「給与前払い」で得た収入の利用目的 【「給与前払い」を利用してみたいと思う人、雇用形態別】



調査結果サマリーと雇用移動円滑化への提言

調査結果サマリー

- 今年5月に実施した調査の結果、シフト減パート・アルバイト女性の2人に1人が転職を希望しており、うち8割は現在と異なる仕事への転職を希望または許容していることが判明
- そこで、今後の雇用移動円滑化に向けた課題や有効な方策を明らかにするため、転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性を対象に、追加で調査を実施した結果、下記のことが分かった
 - ・ 転職希望があるにもかかわらず仕事探しを始めていない人の4人に1人が経済面の不安（転職活動期間中の収入減）を理由に仕事探しを始めていない
 - ・ 転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性の7割強が、コロナの影響を受けても求人が減っていない、または増えている業界・業種に転職することに前向き
 - ・ 転職希望のあるシフト減パート・アルバイト女性の約8割が、資格取得支援があった場合、転職に有効とされる資格や免許を取得して転職することに前向き
 - ・ シフト減パート・アルバイト女性の8割超は、資格取得や職業訓練にかかる金銭的負担を軽減したり、資格取得中や訓練中の経済的不安感を解消する制度があることで、「新しい仕事を探すことに挑戦しやすくなると思う」と回答
 - ・ 給与をすぐに利用できるデジタルマネーで受け取れたり、働いた分の給与を給与日より前に受け取ったりできることで、「転職に挑戦しやすくなると思う」とする人はそれぞれ過半数に及ぶ

雇用移動円滑化への提言

- 資格取得や職業訓練に対する経済的支援は、転職意向のあるシフト減パート・アルバイト女性の経済面の不安を解消させ、転職活動の開始を促すことができる可能性がある。資格取得や職業訓練の「機会の提供」と合わせて、それらに係る「経済的支援」の強化が、雇用移動円滑化に有効
- 加えて、転職直前・直後であっても家計を安定させられるような、例えば、給与をすぐに利用できるデジタルマネーで受け取れる「給与のデジタル払い」制度や働いた分の給与を給与日より前に受け取れる「給与の前払い」制度の検討も、雇用移動円滑化に有効な可能性がある

参考資料

「需要増」産業分野への応募増と「需要減」産業分野への応募減も二極化

＜2020年4月～2021年1月の応募数（女性のみ）を、前年度同期間のものと比較＞

項番	業種	前年比	項番	業種	前年比	項番	業種	前年比
1	小売店（ホームセンター）	298%	14	カラオケ・ネットカフェ	117%	27	アミューズメント	77%
2	フードビジネス（デリバリー）	208%	15	小売店（電気機器関連）	114%	28	フードビジネス（ラーメン・中華）	75%
3	小売店（コンビニ・売店）	185%	16	フードビジネス（給食）	114%	29	小売店（スポーツ用品）	74%
4	スーパー	165%	17	エステティック・美容室・理容室	113%	30	ガソリン・自動車	67%
5	小売店（ドラッグストア・調剤薬局）	159%	18	フードビジネス（総合）	107%	31	フィットネスクラブ	64%
6	フードビジネス（ファミレス・回転寿司）	151%	19	フードビジネス（カフェ）	104%	32	フードビジネス（焼肉・居酒屋・バー）	62%
7	フードビジネス（ファストフード）	141%	20	小売店（書籍・音楽関連）	103%	33	冠婚葬祭	62%
8	小売店（インテリア関連）	137%	21	工事・点検	100%	34	小売店（美容関連）	58%
9	小売店（その他）	134%	22	教育	95%	35	レジャーサービス	53%
10	食品系専門店	134%	23	小売店（ファッション・服飾関連）	90%	36	百貨店	50%
11	医療・福祉・介護サービス	127%	24	その他	90%	37	警備・ビル管理	50%
12	運輸	124%	25	フードビジネス（テーブルレストラン）	87%	38	ホテル・旅館	46%
13	工場・期間工	122%	26	不動産	79%	39	アウトソーシング・派遣	45%

前年度比70%以下

安定産業・職種において 就業に有利となる主な資格の例

業種	ホームセンター	フードデリバリー	コンビニ・売店	スーパー	ドラッグストア・調剤薬局	ファミレス・回転寿司	ファストフード	インテリア関連小売	食品系専門店	医療・福祉・介護サービス	物流（運輸）	工場・期間工	電気機器関連小売
対前比 応募状況	298%	208%	185%	165%	159%	151%	141%	137%	134%	127%	124%	122%	114%
主な職種 (非正規)	販売	配達	販売	販売	販売	ホール（接客）	ホール（接客）	販売	販売	専門及び現場スタッフ	セールスドライバー、宅配員	製造	販売
	品出し	キッチン（調理）		調剤事務	補充・陳列	キッチン（調理）	キッチン（調理）	倉庫事務	製造（キッチン）	事務スタッフ（介護事務）	管理事務	仕分け	web販売
				補充・陳列	薬剤師		清掃	フォークリフト作業			フォークリフト作業	清掃	
					調剤事務		配達	倉庫内作業				品質管理	
												事務	
												フォークリフト作業	
人事、総務、経理財務等バックオフィス業務													
主な資格	登録販売者	普通自動車第一種	登録販売者	登録販売者	登録販売者		普通自動車第一種	フォークリフト		医師等各専門資格（割愛）	普通自動車第一種	フォークリフト	登録販売者
		原付免許		調剤事務各資格（民間）	薬剤師		原付免許			登録販売者	準中型自動車第一種（2t）		
		小型限定普通二輪免許			調剤事務各資格（民間）		小型限定普通二輪免許			薬剤師	5トン限定準中型自動車第一種		
										介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）	中型自動車第一種（4t）		
										介護職員実務者研修（旧ヘルパー1級）	8トン限定中型自動車第一種		
										介護事務各資格（民間）	大型自動車第一種		
											フォークリフト		

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

Share the Next Values!